

20110520 新しい学びプロジェクト
平成23年度第1回研究推進員研修会

協調学習の授業デザイン

大学発教育支援コンソーシアム推進機構
(CoREF)

「元寇はなぜ起こったか」の授業のデザイン

授業の
ねらい



元寇について、元・高麗・鎌倉幕府のそれぞれの立場から多面的多角的に考察することにより、国と国との争いが起こる事情を公正に判断することができる。

授業の柱となる
課題

元寇はなぜ起こったのか

ジグソー法
の主眼



ジグソー活動

元の事情

高麗の事情

鎌倉幕府の事情

問いに答えを出すための部品となる知識
⇒「身に付けてほしい知識」を分割

「地軸の傾き」：授業プラン

1. 題材 地軸の傾き

2. 指導目標

- ・ 地球上の太陽の見え方の違いは、地軸が傾いていることによって起こることを理解させる。

3. 発問と資料の構成

発問 日本以外では、太陽はどのように動いて見えるのだろうか。また、それはなぜだろう？

○タイトル
「南アフリカの太陽の動き」

○内容

- ・ 南アフリカと日本の太陽の見え方を透明半球にかいた図
- ・ 気温のグラフ
- ・ 世界地図

○キーワード

- ・ 南アフリカでは、日本と季節が逆
- ・ 太陽が高くなったとき、北側にある。

○タイトル
「赤道上の太陽の動き」

○内容

- ・ 赤道上と日本の太陽の見え方を透明半球にかいた図
- ・ 世界地図

○キーワード

- ・ 春と秋は、太陽が真上
- ・ 夏は北側
- ・ 冬は南側

○タイトル
「北極の太陽の動き」

○内容

- ・ 北極と日本の太陽の見え方を透明半球にかいた図

○キーワード

- ・ 春と秋は、地平線上に太陽がある
- ・ 夏は1日中太陽が沈まない
- ・ 冬は1日中太陽が昇らない

○ジグソー活動
各グループで考えたことを出し合い、それぞれの考えと照らし合わせ、統一的な答えを考える。

答え 地軸が傾いているから（地球が斜めに公転しているから）

「読書の世界を広げよう」の授業のデザイン

授業の
ねらい

宮沢賢治の作品に共通する
書き方の特色や、
作者のものの見方や考え方に
せまる。

授業の柱となる課題

ジグソー法
の主眼

『なめとこ山の熊』
の読み

『よだかの星』
の読み

『虔十公園林』
の読み

ジグソー活動

問いに答えを出すための部品となる知識
⇒「身に付けてほしい知識」を分割

柱となる課題の設定

- 授業のはじめに持っている考えが,
- 授業中に資料, 活動や人の話から得た知識を統合して変化し,
- 新しいストーリーとして表出できるようになる

柱となる課題 にアプローチする部品

- 1つの部品だけでは、目指すストーリーは作れない
- どの部品も、目指すストーリーを作るための不可欠なパーツになっている
- (授業者が)組み合わせてみると、目指すストーリーが作れる

柱となる課題と**部品**の 対応から資料・活動デザインへ

- ・ **部品**を組み合わせることで、**柱となる課題**に対して、目指す**ストーリー**のかたちで答えが出せるか

を繰り返し検討し、部品を資料や活動に具体化し、工夫してゆく。

授業案の良さ判断基準-提案-

- 資料から読みとれる情報を集めて初めてストーリーが見えてくる
- ジグソー中にストーリーを作れる
- エキスパートを終わった時点で、どの資料を読んだ子どもにも「言いたいこと」がある

協調学習がうまく起きると、

授業のはじめに子どもたち一人ひとりが持っていた「見方や考え方の多様性」が活かされあって、より質の高い多様性(+発展的な問い)が生まれる

「集める」ことと「まとめる」こと

● 集める

- みんなが違うアイデアを持ち寄る
- たくさん集まって楽しい；貢献感、参加感

● まとめる

- 違うアイデアをまとめてすっきりする
- 他人と「違う」まとめが私→次の話し合いへ